

## 高松塚古墳及びキトラ古墳の考古学的調査について

古墳壁画保存対策 文化財研究所プロジェクトチーム  
発掘調査班

## 高松塚古墳に係る作業の進捗と来年度の予定

## 1. これまでの発掘班の主な業務

## ①発掘調査

- ・高松塚古墳の石室解体に伴う発掘調査（平成18・19年度）
- ・仮整備にともなう発掘調査（平成20年度）

## ②発掘調査資料の保存と活用，整備にむけた調査研究

- ・図面，写真類の基礎的整理
- ・墳丘版築層の剥ぎ取り転写（石室解体調査時東西・南北畦，墓道東壁）。
- ・墳丘版築切り取りサンプルの樹脂含浸強化，一部展示用加工。
- ・石室石材加工痕跡拓影の合成，およびデジタルスキャニング
- ・版築内検出地震痕跡の立体模型作成
- ・石室解体事業動画編集
- ・発掘調査時三次元レーザースキャニングデータの整理  
石室，保存施設等三次元モデル・画像作成  
三次元CGアニメーション作成（古墳構築過程編，石室解体事業編）
- ・石室目地漆喰の保管兼展示用台座作成（平成26年度～）

## 2. 来年度の業務

- ・石室目地漆喰の保管兼展示用台座作成（継続）
- ・構築過程三次元モデル選択操作型映像データの作成



墳丘版築層剥ぎ取りパネル（飛鳥資料館）



発掘成果三次元CGアニメーション

## キトラ古墳に係る作業の進捗と来年度の予定

2004年9月 「第7回特別史跡キトラ古墳の保存・活用等に関する調査研究委員会」において、石室内漆喰の全面取り外しが決定。

2010年11月 床面を除く5面全ての石室内の漆喰取り外し作業が終了。

2011年6月・2013年2月・2013年9月

キトラ古墳石室内および墓道部の考古学的調査

(成果は『奈文研紀要 2012』『奈文研紀要 2014』に報告)

石室では、床面の棺台痕跡、石材加工のための朱線、石室構築の際の梃子穴等を確認。墓道部では石室南側の柱穴に抜取穴、墓道床面等で多数の地割れ(地震痕跡)を確認。併せて、墓道部版築層のはぎ取り、3次元レーザー測量を実施。

2013年9月～10月 石室盗掘孔の閉塞作業(石工・左野勝司氏による作業)  
二上山産凝灰岩と漆喰を用いて閉塞。

2013年11月～12月 墓道部の埋め戻し作業  
人力により、木槌等を用いた版築工法で埋め戻しをおこなう。  
あわせて、仮設保護覆屋の3次元レーザー測量を実施。

2014年4月～7月 仮設保護覆屋の解体作業(立会調査)

2014年8月 仮設保護覆屋解体後の3次元レーザー測量の実施

2015年1月以降の予定

墳丘斜面保護のために置かれた土のうの撤去作業。

土のう撤去後の墳丘の3次元レーザー測量。

墳丘整備工事の立会調査。